

GFSI、認証中断に直面する食品企業に対する措置

2020年10月16日 金曜日



GFSIは、GFSI承認の食品安全プログラムの審査と認証に対するCOVID-19パンデミックの影響を緩和するために最新の見解を発表します。この見解は、完全なオンサイト(現地)審査が不可能な場合に、認証取得済み組織や初めて認証取得を申請する組織が利用できるオプションを明確にすることを目的としています。

完全な見解は[こちらを参照ください](#)。

要約:

- CPOがリスク評価に基づいて延長を適切とみなした場合、認証有効期限を6か月間延長可能。
- GFSIは、審査に情報通信技術の使用を含めるために、新しいベンチマーク要求事項バージョン2020.1を発行。
- GFSIは現在、100%リモートによる食品安全審査を承認していない。
- 認証が失効するリスクがある場合、サプライヤーと顧客は、GFSI承認の審査という保証がないまま、サプライチェーンを維持するリスクを評価する取り決めについて合意してください。

GFSI のシニアテクニカルマネージャーMarie-Claude Quentin が GFSI の見解をより詳細に説明し、この例外的な状況における食品事業への影響と選択肢について説明しています。(音声は、オリジナルサイトにてお聞きください)

GFSI は引き続きステークホルダーの意見に耳を傾け、タイムリーな更新と発表を公開することに取り組めます。[お気軽に質問をお寄せください](#)。更新情報を受け取るには[こちらにご登録ください](#)。

オリジナル英文はこちら。

https://mygfsi.com/news_updates/gfsi-extends-measures-for-food-businesses-facing-ongoing-certification-disruption/